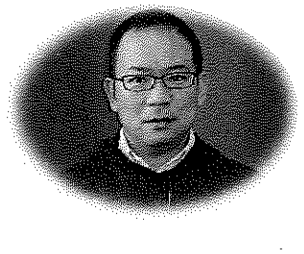
COCORO NOMAD
http://kokoronomado.or.jp
2018. 11 No. 13

ココロ・ノマド

編集/発行 社会福祉法人こころの窓広報委員会
〒599-8114 大阪府堺市東区日置荘西町8丁1-1
TEL 072-286-2260 FAX 072-286-2268

グループホーム新制度へ期待すること



共同生活援助 管理者
西尾智樹

グループホームの利用者様で、1年に何日か、日中事業所を絶対休む日を、あらかじめ決めておられる方がいらっしゃいます。その日は休んで遠方に旅行に行く、特別なコンサートに出掛ける、という訳でもなく、ただ、近隣でブラっと散歩や買い物をしたり、一日グループホームでテレビを見たりして過ごされるのです。

どの利用者様にも当てはまるものではありません。一旦お休みすると、そのまままずっと休んでしまわれる利用者様や、常時の見守りが絶対必要な利用者様には難しいかもしれません。でも、この利用者様の「余暇」には、その人らしい生活の一面が出ていると思います。今後、常時見守りが必要となるその日まで、この思いは叶えて差し上げたいと思います。

この方のように自分らしい余暇をご自分で見つけることのできる方は、少数派です。グループホーム利用者様の多くが、移動支援（ガイドヘルパー）のサービスを使って外出されておられます。こころの窓のグループホームを利用されている方の54名のうち、約7割の方が、何らかの形で移動支援（ガイドヘルパー）との契約をされ、平日・休日問わず外出等に利用されています。

グループホームの制度設計は、利用者様が夕方グループホームに帰って来て、寝て、朝起きて作業所や仕事に行くという生活を前提としており、平日の昼間にグループホームに居る、ということは想定されていません。無論、利用者様の急な病気怪我等で出勤や事業所への登所が不可能な場合、あるいは、事業所が休所の場合等、何をおいても支援員は配置しますが、制度的裏付けがなく恒常的に人的支援を継続させることは、なかなか困難でもあります。そのため、どうしても昼間は他のサービスを利用して頂くことになります。

そういう中で、今年度より「日中支援型共同生活援助（グループホーム）」サービスが制度化されました。この制度は現状のグループホームの制度とは異なり、日中をグループホーム内で過ごすことを前提としています。

昼間に居ることが出来る、という意味では、グループホームがまた一歩、「家らしさ」に近づいた、と言えるのかもしれません。ただ、問題点がない訳ではありません。昼夜分かたずサービスの対象となる、日中支援型のグループホームについては、昨今の施設を解体し、地域へという流れに逆行する「ミニ入所施設」を整備するものである、と警戒感を持つ向きもあります。また、契約により自由にサービスを選択するという建前からすると、「利用者の囲い込み」という批判が可能である点等、今後当該グループホームの制度を志向するとき、私共も、そういったリスクと批判に背中合わせであることを十分認識する必要があります。それでも今までのグループホームの制度限界を補うべきものとして、今後新しいホームを建設するに当たっての選択肢として、当制度を注目するところでもあります。

現在グループホーム利用者様の多くが、平日は作業所や勤務先に通われ、土日はガイドヘルパーで外出等と、中には非常に忙しい毎日を過ごされている方もいらっしゃいます。

これから高齢化を迎え、今までのような「フル回転」が体力的に困難になっても、おそらく、多くの方が今までの「習慣」で無理にでも作業所に来ようとされるでしょう（無論、サービス提供者としては、利用して頂いた方が有難いのですが・・・）。

ご本人の思いには寄り添いつつも、年齢体力に見合ったサービスの利用方法を、一緒に考えさせて頂くことも、利用者様の高齢化には必要だと思います。そのような時、若い方は、通所型の既存のグループホーム、身体障がいを伴う方や高齢者には、日中支援型グループホーム、という具合に、昼間過ごせる空間の選択肢が増えることで、より「その人らしい生活」に近づくことが出来るのではないかと思います。

新しい制度への思いを馳せつつ、お読み頂いた皆様には「物心共のご支援」(笑)をお願いし、脱稿といたします。

社会福祉法人こころの窓 事業概要

●青い鳥	就労継続支援事業Ｂ型 定員30名
	生活介護事業 定員70名
●ヴィラージュあゆみ	グループホーム（共同生活援助事業）
ヴィラージュあまね	11ヶ所 定員54名
●ショートステイあかね	ショートステイ（短期入所事業） 定員12名
●相談支援事業所青い鳥	相談支援事業
●青い鳥初芝教室	児童発達支援事業・放課後等デイサービス 定員10名
●ショップ青い鳥	

KoKoRo no MaDo
Social Welfare Organization

理 念

愛と英智で 人に添い

愛と英智で 事に当たり

愛と英智で ともに生きる

農業体験プログラム「NOMAD LAND(ノマド・ランド)」始動！

さて、ようやく始動した「ノマド・ランド」（農業体験プログラム）について報告いたします。

９月、秋の長雨や毎週のように押し寄せる台風の影響から、当初の開始予定を大幅に遅れてしまう事を余儀なくされました「ノマド・ランド」ですが、ようやく10月中旬から農作物の植付けをし、また利用者の体験も始まりました。職員も試行錯誤しながら、体験作業や農作物のスケジュールを立て、利用者と一緒に頑張っております。11月の植付けしたニンニクや玉ねぎなど、利用者とともに作物の成長を祈るばかりです。なお、ホームページでも作物の成長状況などは更新していきます。どうぞご期待ください。

【植付け作物】11月
水菜、小松菜、サニーレタス、大根、ブロッコリー、白菜、ニンニク、玉ねぎ

「NOMAD LAND」
（11月現在の様子）

商品紹介 青い鳥のお菓子 人気 No.1 商品

♡『パウンドケーキ』♡ Mサイズ 500円 Sサイズ 150円

今回、紹介する製菓商品は皆さんご存知「パウンドケーキ」です。
青い鳥のパウンドケーキは、油脂をバターの代わりに「太白ごま油」を使用。カロリーやコレステロールを抑えることに成功したヘルシーケーキです。
冬を迎え、青い鳥スタッフがおススメなのは「オレンジチョコ」のケーキです。バニラ生地のケーキに「チョコチップ」「オレンジピール」を混ぜ、甘さの中に上品な味を醸し出しています。

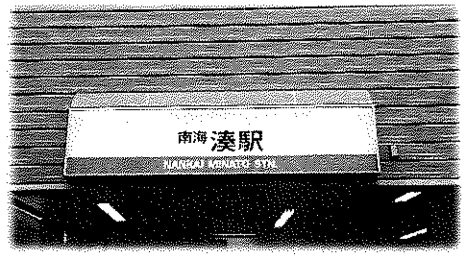
青い鳥パティシエが教える

【お菓子な食べ方】シリーズ　パウンドケーキ編

パウンドケーキで一度、試してほしいおススメの食べ方は「軽く焼く」です。約2センチほどの厚さに切り、オーブントースターなどで約1分焼くだけの簡単な食べ方です。
表面カリッと中はしっとり！一度試して下さい !(^^)!

写真：オレンジチョコパウンドケーキ

堺の車窓から Vol.12



今回、ご紹介する駅は南海本線『湊駅』です。準急行と普通車が停車します。2017 年度の一日平均乗降人員は 6,551 人で、南海電鉄全体の駅（泉北高速線の駅を除く 100 駅）の中で平均乗降人員数は第 44 位です。

湊駅は、1907 年 10 月に開業しました。駅名の由来は、所在地である出島町が古くから「湊村」と呼ばれていたからだといわれています。昔は、田畑に利用していた井戸から水をくみ上げるための風車が多く見られましたが、1955 年頃から住宅地が増えはじめ現在では見られなくなりました。かつては、大阪市電阪堺線が湊駅北西 300m の出島電停まで来ていましたが、1968 年 9 月末に廃止されています。現在は、駅の東側には団地などが立ち並び、西側には小規模店舗が点在しています。

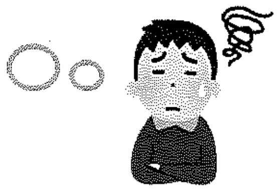
駅西側の出島漁港では、週末の土・日に「堺とれとれ市」が開催されており、新鮮な魚介類の販売やバーベキュー・たこ飯・海鮮天ぷら・いかの姿焼き・あゆの塩焼き・たこ焼き・おでんなど屋台がたくさんあり、家族揃って楽しむ事ができます。

駅北西には、もともと漁師さんが漁に出て冷えた体を温める為に、1923 年に開業した関西唯一の海水のお風呂屋「湊潮湯」があり、地域の皆さんを中心に利用されています。

【次回は、南海本線「石津川」駅です。】

今日も健康

急にしんどくなってきた。。。
熱が38℃以上もある。。。頭が痛いなぁ。。。体の節々が痛いなぁ。。。
咳や鼻水も出て喉が痛いなぁ。。。もしかしてインフルエンザ！？



毎年11月頃から広がり始め、冬季に流行するインフルエンザ。
インフルエンザは、38℃以上の高熱を発症するだけでなく、肺炎などの重い合併症を引き起こす危険があります。
ワクチンを接種し、日常生活で対策を取りながら感染を予防しましょう！！
予防として最も重要なのは・・・

●ワクチン接種…インフルエンザ発症の危険性を減少させることができ、発症しても重症化を防ぐ効果があります。ワクチン接種は11月中頃～12月中頃までの間に接種しましょう。
●マスクの着用…インフルエンザウイルスは飛沫感染します。人にうつしたり、自分に感染したりする可能性を減らすことができます。
●手洗いうがい…外出から戻って来た時には、流水と石鹸でしっかりと手洗いすることが大切です。

その他、体の免疫力が下がらないよう、日頃からの十分な睡眠と栄養をとりインフルエンザウイルスに負けない身体づくりを心がけましょう！！

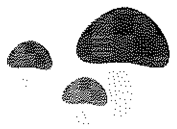
（看護師　：　谷口 裕子）

COOKMADO

秋も深まり、肌寒い季節となってきましたね。皆様はどのような秋をお過ごしですか？色々な秋がありますが、なんといっても『食欲の秋』は外せないのではないでしょうか。今回は、秋に旬を迎えるキノコ類についてお話しします。

キノコはカビなどと同じ菌類の仲間です。キノコは主に『腐生性キノコ』と『菌根性キノコ』に分類されます。基本的には秋が旬のキノコですが、『腐生性キノコ』のしいたけ、マッシュルーム、ぶなしめじ、エリンギ等は人工栽培しやすく安価で年中手に入りやすいという特徴があります。一方、『菌根性キノコ』の松茸やトリュフは人工栽培がしづらく自然に生えたものを採取しているため高価になる傾向があります。キノコはカロリーが低く、食物繊維がたっぷりなのでお通じの改善や腸内環境を整えるのにはピッタリな食材です。

今回はマッシュルームとエリンギを使用した、こんなレシピはいかがですか？

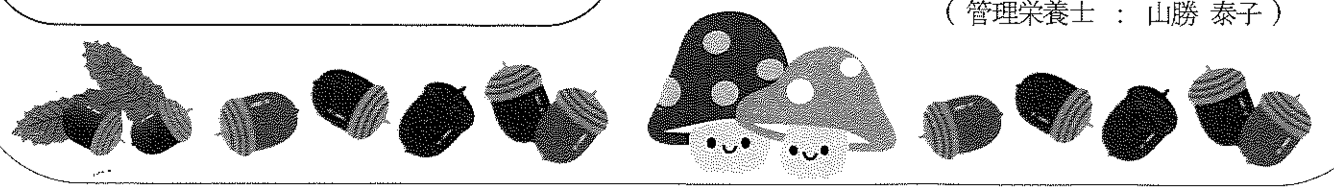


きのこのアヒージョ（2人分）

●マッシュルーム（生）	70g
●エリンギ	80g
●ベーコン	25g
●にんにく	1片
●オリーブオイル	50g
●塩	1つまみ
●ブラックペッパー	適量
●パセリ	小さじ1/4

<作り方>
①にんにくを縦半分に切り芯を除き、包丁の腹で軽く押しつぶす。
②キノコを一口大、ベーコンを5mm幅の短冊切りにする。
③フライパンにオリーブオイルを入れ、①、②の材料も入れ中火で加熱する。
④きのこが一回り小さくなり、色づき、火が通ったら味見をし、塩とブラックペッパーで味を整える。
⑤パセリをふりかけたら完成。

（管理栄養士　：　山勝 泰子）



初代理事長　橋爪郁治氏　が逝去いたしました。

今秋、彼岸の中日を控えた2018年9月22日、初代理事長の橋爪郁治氏が逝去いたしました。享年88歳でありました。慎んで哀悼の意を表しますとともに、皆様にはここに生前のご厚誼に感謝し、心より御礼申し上げます。

橋爪氏は、聾学校教諭時代の1980年、多数の「耳は聞こえるが、話しをすることが困難」な子どもたちの相談に応じたことを機に一念発起し、私財を投じて中百舌鳥の地に「青い鳥ことばの会」を開設しました。以来、療育を、中でも自閉症の療育指導に全精力を傾注し、教材を工夫したその療育手法は広く関心を集めました。

当時、自閉症の療育は緒に就いたばかりで、障がいをもつ当事者や家族は悩みの中にありました。そのような方々の一助となるべく橋爪氏は積極的に講演活動を展開、障がい児教育者として実践を踏まえた公共放送番組への出演や近畿一円の小学校にて多数の講演を行いました。その後、組織は社団法人言語指導療育センターへと発展、改称しました。1986年には療育実践の集大成となる『「ことば」の遅れと指導プログラム』（ぶどう社刊、言語指導療育センター著、橋爪郁治編）を刊行し、累計発行部数は5万部に達しています。

在りし日の橋爪郁治氏
（平成15年1月　撮影）

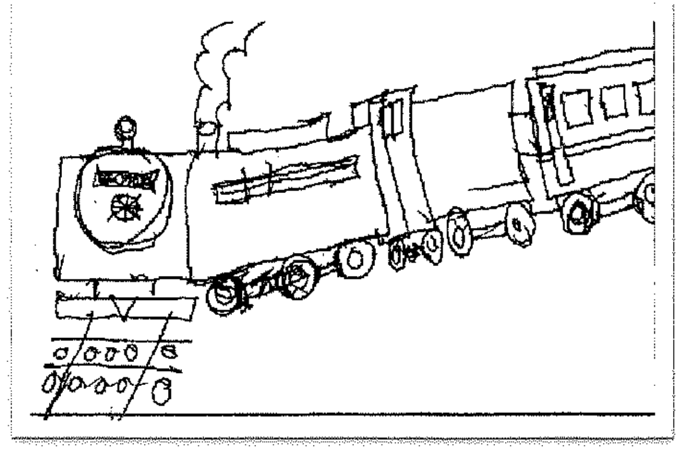
日々、療育指導や後進の指導員育成に当たり、また療育生が社会へ巣立つ姿を見つめる中、橋爪氏は障がい児・者の行く末を案じ続けていました。そして、成人後も必要なサポートを提供できる仕組みが不可欠との考えにより、当事者や家族、他のスタッフと一丸となり組織の社会福祉法人化運動に尽力しました。2002年11月、ついに「社会福祉法人こころの窓」認可、翌2003年10月、法人初の事業所「青い鳥」のオープンに至り、療育を受けた卒業生はもとより、多くの地域の障がい者が集いました。「青い鳥」の運営が軌道に乗ることを見届け、2008年、理事長を退任し、現役生活を終えました。

私どもは遺志を受け継ぎ、橋爪初代理事長がその礎を築いたこの法人を発展させ、障がい児・者の暮らし、人生がより良いものとなるよう、これからも全員で力を合わせて参ります。

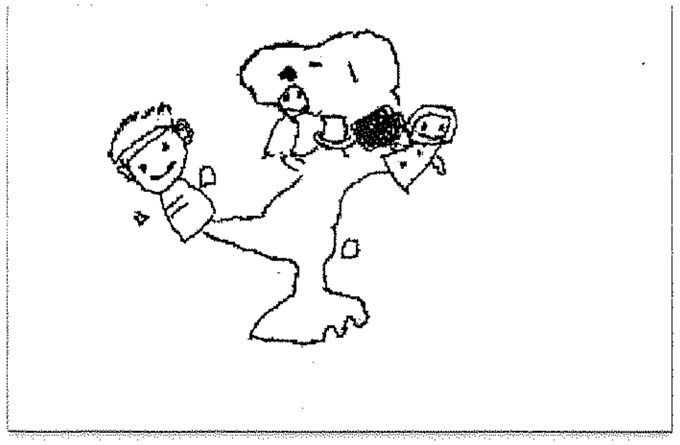
今後とも皆様には、これまで同様にお力添えのほど宜しくお願い申し上げます。

2018年10月
社会福祉法人こころの窓
理事長　浦郷津留子

アーティスト・ノマド



和田　好樹さん
（青い鳥　就労継続支援事業Ｂ型）



江邉　貴子さん
（青い鳥　生活介護事業）